

タイトル：

「釈尊と法華経研究会」を立ち上げました 森 章司 (2021.3.1)

リード文：

この「釈尊と法華経研究会」は、皆さまには 28 年間お世話になりました「釈尊伝研究会」を発展的に解消して新たに立ち上げたものです。

詳細：

「釈尊と法華経研究会」なる名称は、中央学術研究所の全面的バックアップで完成した釈尊伝研究の成果を、研究所の母体である立正佼成会が所依としている法華経の研究に活かしたいという願いのもとに名づけられました。

ご承知のように法華経は歴史上の釈尊の行実を土台にして成立しています。というよりもわれわれは、法華経は歴史上の釈尊の教えとオーバーラップしているのではないかと考えているからです。

この第 1 回研究会を昨年 (2020 年) 3 月 18 日に行いました。このときには釈尊伝研究会残党の森章司、金子芳夫、岩井昌悟と中央学術研究所の研究所所長、研究室室長を中心とした研究所スタッフなど 10 数名が参加しましたが、実はこの研究会の組織も活動方針もいまだはっきりとは決まっておられません。研究会を重ねながら徐々に固めていこうと始めたのですが、その直後から新型コロナウイルスの感染状況が深刻になって、それ以来ほぼ 1 年間一度も一堂に会しての研究会を開催できないで今に至っているからです。そこで現在のところその中心メンバーは釈尊伝研究会の残党ということになってしまっています。

ということで研究会を開催できないでいるとはいうものの、e-mail で文書による意見を交換しながらの研究会を行い、すでにそれは 11 回を数えています。定期的にはありませんが、ひと月に一回の研究会を行ったこととなります。オンライン研究会ならもっと自由な意見交換ができたのですが、なにしろホームページにこの報告をアップするさえままならないネット音痴の面々が中心になっていきますので、e-mail でやり取りするしか方法がなかったのです。

しかしまさに怪我の功名というべきでしょう。着実に発表原稿は蓄積され、いずれ論文として皆さんにも報告させていただきたいと考えています。

そのテーマと発表担当者をご紹介します。日付は原稿が作成された日です。

- 第 1 回 (2020.3.18) : 諸仏の常法と久遠実成仏 (森 章司)
- 第 2 回 (2020.5.10) : 無我について――背後に隠されたアートマン―― (森 章司)
- 第 3 回 (2020.5.24) : リアル釈尊と迹門の釈迦牟尼仏の未顕真実――無記について―― (森 章司)
- 第 4 回 (2020.6.15) : 大乘涅槃経における常楽我浄について (金子芳夫)
- 第 5 回 (2020.7.12) : 法華経のブツダ観――私たちは仏になれるのか?―― (森 章司)
- 第 6 回 (2020.7.29) : 原始仏教のブツダ観――超人ブツダと人間ブツダ―― (森 章司)
- 第 7 回 (2020.8.31) : 一世界一仏をめぐって (岩井昌悟)
- 第 8 回 (2020.9.28) : 釈迦牟尼仏はどのようにしてブツダになられたか? (森 章司)
- 第 9 回 (2020.11.10) : 釈迦牟尼仏は一切智者であったか? (森 章司)
- 第 10 回 (2021.1.11) : 三止三請をはじめとする〈再三〉表現―― 原始仏教聖典と法華経を中心に (金子芳夫)
- 第 11 回 (2021.2.5) : ブツダにしかない能力はあるか?―― 仏十八不共法―― (森 章司)

このホームページは、まだ釈尊伝研究会の『釈尊伝』を公刊できていない釈尊伝研究会のために残してあったのですが、今後はこの研究会の模様もお伝えさせていただく場としても使っていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

なお『积尊および积尊教団形成史年表』をもとにした积尊伝研究会の『积尊の生涯と教団形成史』（仮題）の公刊を目指して作業を始めたこともご報告しておきます。